

先人の知恵に学ぶ 身近な水辺の保全 ～生命を支える水を後世に～

SYMPOSIUM FOR CREATING FOR HEARTY WATER ENVIRONMENT

©国土交通省 帯広開発建設部

参加費
無料

要事前
申し込み

2026
8 / 2 日
13:30-16:00
(開場 13:00)

会場 (オンライン併用)

沙流川歴史館レクチャーホール

北海道沙流郡平取町二風谷 227-2

オンライン配信あり (要申込: 定員150名)

お申し込み方法

参加申し込みは申込フォームから
<https://forms.gle/JSZPEF7bVGY3FV6L9>

申し込み締切: 7月28日(火)



開催趣旨

日高山脈を源流とする沙流川や十勝川水系札内川などの流域は古来より、たくさんの生命を支える生物多様性の源であるとともに、アイヌ文化をはじめとする人々の暮らしを育んできた、生物文化多様性の場となっています。

本シンポジウムは、アイヌの人々、流域保全活動に取り組んできた先人たちの知恵について紹介いただき、生態系管理の視点から身近な水辺環境の保全について考えることにより、良好な水環境を創出・保全していく取組の環を広げることを目的として開催します。

©国土交通省 室蘭開発建設部

01 基調講演

水が育む地域の文化
— 災いと恵みを活かす知恵 —

中村 太士 氏
北海道大学 名誉教授



02 事例紹介・パネルディスカッション

令和6年に指定された日高山脈襟裳十勝国立公園と
周辺地域で活躍される4名の方に事例紹介をいただ
いたあと、パネルディスカッションを行います

プログラム

13:30~13:40	開会挨拶
13:40~14:20	基調講演
14:20~14:30	休憩
14:30~15:50	事例紹介・パネルディスカッション
15:50~16:00	閉会挨拶

登壇者

中村 太士 氏	北海道大学名誉教授
門別 徳司 氏	株式会社平取町アイヌ文化振興公社
竹中 健 氏	シマフクロウ環境研究会
石原 由美子 氏	十勝川水系自然再生検討会
赤坂 卓美 氏	帯広畜産大学環境農学研究部門
草留 大岳 氏	環境省新ひだか自然保護官事務所

申込に関する問い合わせ先

☎ 011-218-7811 【(公財)北海道環境財団企画事業課】

[主催] 環境省北海道環境局

[後援] 国土交通省北海道開発局、林野庁北海道森林管理局日高北部森林管理署 [協力] 十勝総合振興局、日高振興局、平取町

[画像出典] 北海道開発局室蘭開発建設部ウェブサイト (<https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/nkl4jv00000006hu.html>)

北海道開発局帯広開発建設部ウェブサイト (<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tisui/tisuijigyoyou/fns6al00000000eenw.html>)

基調講演

[13:40-14:20]

中村 太士 氏 北海道大学 名誉教授

水が育む地域の文化 ー 災いと恵みを活かす知恵 ー

川は、多くの生物を育む豊かな環境を創る一方で、洪水や土石流などの災害をもたらす。

この恵みと災いの矛盾をつながりとして捉えることで、川と共生する豊かな文化が育まれてきた。

講師プロフィール：1958年愛知県名古屋生まれ。1983年北海道大学大学院農学研究科林学専攻修士課程修了。農学博士。1984年北海道大学農学部助手として採用。1990年同講師、1992年同助教授、2000年同教授。2024年3月定年退職し、現在は北海道大学名誉教授。1990年から92年までアメリカのオレゴン州立大学で生態系管理学を学ぶ。森林と川のつながりなど、生態系間の相互作用を土地利用も含めて流域の視点から研究している。

取組紹介・パネルディスカッション

事例紹介 01 門別 徳司 氏

株式会社平取町アイヌ文化振興公社

コタンコロカムイが棲む森づくり

アイヌの人々と密接な関係にあったが自然環境の変化で生息域が失われたシマフクロウ。

かつての豊かな自然の象徴として再び棲めるための環境づくりの取組を紹介する。

事例紹介 03 石原 由美子 氏

十勝川水系自然再生検討会

私たちの手で魅力を発掘～札内川～

「札内川の魅力を探り、それを地域活性化につなげられないか？」地域住民で組織した札内川懇談会が2012年から取り組んできた、さまざまな活動について御紹介します。

事例紹介 02 竹中 健 氏

シマフクロウ環境研究会

シマフクロウ 北海道の自然の守り神

シマフクロウは豊富な魚と大木のある森に支えられ、縄張りを世代を超えて受け継ぎます。絶滅寸前から回復しつつあるシマフクロウが生きる地域の価値を皆さんと考えます。

事例紹介 04 赤坂 卓美 氏

帯広畜産大学環境農学研究部門

湧水のある河川がもたらす生態系とは？

十勝川水系には、豊富な湧水が流入しています。流域の生き物に対する湧水の役割を紐解き、地域で取り組む保全活動の意義を考えます。

パネリスト

後半は、環境省新ひだか自然保護官事務所の担当官も参加し、ディスカッションを行います。



中村 太士 氏
北海道大学 名誉教授
ファシリテーター



門別 徳司 氏
株式会社平取町
アイヌ文化振興公社



竹中 健 氏
シマフクロウ
環境研究会



石原 由美子 氏
十勝川水系自然
再生検討会



赤坂 卓美 氏
帯広畜産大学
環境農学研究部門



草留 大岳 氏
環境省新ひだか
自然保護官事務所

会場へのアクセス ……沙流川歴史館レクチャーホール



帯広方面からお越しの場合（車）

道東自動車道（帯広JCT）から「占冠IC」を下車。国道237号（日高・平取方面）を南下して約65分。

札幌方面からお越しの場合（車）

道央自動車道（札幌南IC）から苫小牧東JCTを経由して日高自動車道へ。「日高富川IC」を下車後、国道237号を平取方面へ約15分

P 二風谷コタン駐車場をご利用の上、コタン内を歩いて会場へお越しください。